

各校で独自に整備していたオンプレミスサーバーをクラウドへ移行したことで、現場ICT担当教員の管理業務負担を解消し、新しい学びへ挑戦する稼働創出に成功した事例



※写真は、さとえ学園小学校

学校法人 佐藤栄学園

業種 教育、学習支援業

教職員数 1,017名

本社所在地 埼玉県さいたま市

主な事業内容

小学校
中学・高等学校
大学
専門学校

ホームページ <https://satoegakuen.ac.jp/>

導入サービス

- クラウド導入・運用サービス
- クラウドゲートウェイ クロスコネク
- Amazon Web Services (AWS) リセール
- Managed SD-WAN
- ダイヤモンドサポート

サービス導入時期 2022年8月

ご担当者さま

佐藤栄学園法人本部 齊藤 実さま
佐藤 好道さま
さとえ学園小学校 山中 昭岳さま

クラウド導入前の課題

- ICT基盤であるサーバーやネットワークを各校で独自に整備・維持管理を行っていたため、学校現場のICT担当教員が孤軍奮闘している状況であった

NTT東日本を選んだ理由

- 頻繁に打ち合わせいただき、学園の方針に寄り添った具体的かつ分かりやすい提案だった
- ネットワークからクラウド、セキュリティ対策まで、トータルでICT基盤を整備・サポートが可能なことや、上層部の説得材料となる資料提示があるなど、総合的に優れていたのがNTT東日本だった

クラウド導入後の効果

- ICT担当教員のサーバー・ネットワークの管理負担が解消された
- オンプレミス機器にかかっていた余計なコストが削減された
- 教員の自宅からでも安全にデータにアクセスできるようになり働き方改革にも貢献している

各校が各自で管理してきたオンプレミスの校務支援システム基盤をクラウドへ移行し、ICT担当教員のシステム・ネットワークの管理業務負担を軽減することに成功した学校法人佐藤栄学園さま(以下、「佐藤栄学園さま」といいます。)の事例をご紹介します。

今回は、齊藤 実さま、佐藤 好道さま、山中 昭岳さまにお話をお伺いしました。



佐藤栄学園法人本部 齊藤 実さま
さとえ学園小学校 山中 昭岳さま
佐藤栄学園法人本部 佐藤 好道さま

1. ご相談前の課題と背景

ICT基盤であるサーバーやネットワークを各校で独自に整備・維持管理を行っていたため、学校現場のICT担当教員が孤軍奮闘している状況であった

以前は各校にサーバーがあり、メンテナンスやシステムの更新が必要であれば、教員がそれぞれのサーバー事業者・ネットワーク事業者に依頼し、運用・保守を行うなど苦労していました。教員のマンパワーによって管理を行っていて、そのボランティア精神に頼りきりだったのです。

そのようにいつまでも教員がサーバーやネットワークの「お守り役」をするのはやめたいと考えていました。各校の教員がICT担当者として運用・保

守を行う状況の中、学園全体としてのICT部署のようなものも無く、本部としてサポートする体制も整っていませんでした。

サポートしてくれる部署や体制が無いため、教員たちは「サーバーに何か支障があった時に自分たちで対応しなければならない」という不安を抱えていたと思います。また、サーバーを狙われてトラブルになる可能性もあるので、校内にサーバーがあることへの怖さもありました。

(山中さま、齊藤さま)

2. クラウドを選んだ理由

各校独自で管理していたシステム基盤の管理を一元化し、教員にかかっていた負担を軽減するため

教員にかかっていた管理業務負担や心理的な負荷を軽減するために、学園本部が中心となってシステム基盤をクラウド化して、系列校のシステムもクラウドに乗せるかたちにしたと考えました。

その中で、ちょうど校務支援システムのサーバーがリプレースの時期を迎えていた小学校と中学・高等学校があったので、「この機会に」と思い、NTT東日本さまにご協力いただいてクラウド化へ踏み切りました。(山中さま)

3. NTT 東日本を選んだ理由

頻繁に打ち合わせいただき、学園の方針に寄り添った具体的なかつ分かりやすい提案だった

3社で比較していたのですが、NTT東日本さまは、分かりやすくまとまりがある事前打ち合わせに加えて、提案も具体的なかつ寄り添った内容でした。

学校である以上、生徒の個人情報も管理しているのでセキュリティは絶対です。かといって値段が高すぎると予算もあるので(クラウドの導入が)難しくなってしまいます。NTT東日本さまにはセキュリティを重視しつつもちょうどよいコスト感の提案をいただき、本校のことを「一番分かってくれている」と感じました。

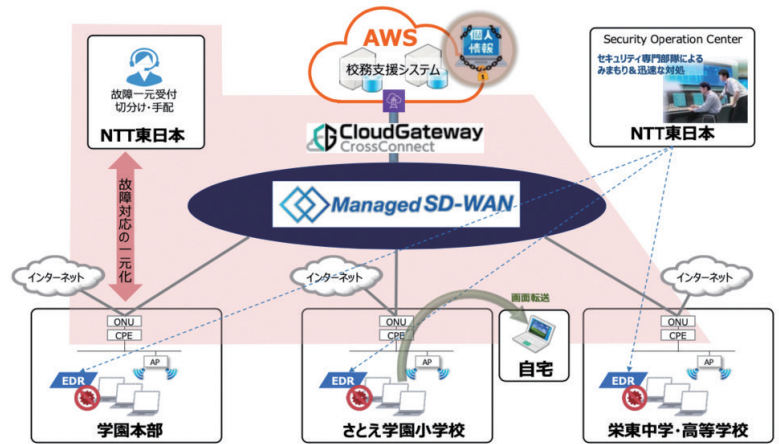
また、頻繁にお打ち合わせいただき、課題をまとめた上で一つ一つ対処してもらえて、きめ細かく対応していただいたという印象もあります。(齊藤さま、佐藤さま)

ネットワークからクラウド、セキュリティ対策までトータルでICT基盤を整備・サポートが可能なことや、上層部の説得材料となる資料提示があるなど、総合的に優れていたのがNTT東日本だった

協力会社の選定にあたり、ポイント制の評価シートを設計していたのですが、評価シート上でもやはりNTT東日本さまが総合的に優れているという判断になりました。中でも、プロジェクトをトータルでサポートしていただける点は非常によかったです。

NTT東日本さまは、プロジェクト全体での窓口となり、トータルでコーディネートしてもらえるということだったので、平たく言えば非常に楽でした。

また、上層部に承認してもらうための説得材料を用意してもらえたことも大きいです。プロジェクトの目的や効果などを理解頂き、学園ICT基盤を見直す説得材料をきちんと資料で示していただきました。(山中さま、齊藤さま)



4. クラウド導入後の成果

教員の管理負担の解消や、コスト削減が実現した上、働き方改革にも貢献

成果①: ICT担当教員のサーバー・ネットワークの管理負担が解消された

クラウド導入前は、自分たちが保守・管理の担当者であることに不安しかなかったんですね。サーバーやネットワークにトラブルがあった際に、専門性のない一般の教員が責任を取れるかという点、どうしても難しいですから。今はその心理的負担は全くなくなっているので、現場の担当教員は救われています。(山中さま)

成果②: オンプレミス機器にかかっていた余計なコストが削減された

物理サーバーをリプレースすれば、インストールされている校務支援システムなどの入れ替えにも費用が発生します。クラウド化でオンプレミス機器にかかっていた余計な費用は不要となります。系列各校で順調にシステムを稼働できていますし、運用しやすくなりました。(齊藤さま)

成果③: 教員の自宅からでも安全にデータにアクセスできるようになり働き方改革にも貢献

各教員の自宅から、生徒の機微情報(成績・通知表情報)へアクセスできるようになりました。これまでは校内のオンプレミスサーバーに入れるようにしていたため、業務で情報を扱う際には、学校に来る必要があったのです。

クラウドを導入してからは、各教員の自宅からでもアクセスできるようになりましたし、セキュリティ面でも安心・安全な環境を実現できています。エッセンシャルワーカーでもある教員が自宅でも一部業務ができるようになったことは、働き方改革にもつながっています。(山中さま)

※文中記載の組織名・所属・肩書き・取材内容などは、すべて2022年11月時点(インタビュー時点)のものです。
 ※事例はあくまでも一例であり、すべてのお客さまについて同様の効果があることを保証するものではありません。

